

学びプラン

災害から学んだ電力供給の重要性！
全国でも稀有な周波数変換所視察！

中部電力パワーグリッド（株）飛騨変換所とは

日本の電力供給事情に応じて作られた特別な施設で視察見学！！

2011年3月の東日本大震災の際に、電力が特定の地域（主に東日本）で不足した際、他エリアから電力を融通する必要がありました。ただ日本においては、東日本が50Hz、西日本が60Hzと電力の周波数が違うため、周波数を変換して送電線に接続する必要があります。当時はその変換能力が乏しく、西日本から東日本に融通できる電力量に限りがあり、計画停電が余儀なく実施されました。これを受け、国の専門委員会で地域間連系の強化に関する議論がなされ、周波数を変換する施設を増強することが決定し、これにより飛騨変換所の建設が進められ、2021年3月に運転を開始しました。

2022年3月、東日本の電力需給ひっ迫時には、飛騨変換所がフル稼働することで、停電を回避することができました。

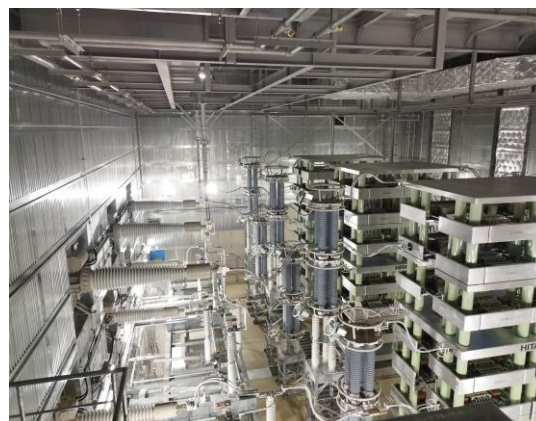
中部電力パワーグリッド（株）では、この施設の重要性やその背景を広く知ってもらうため、普段は見ることができない内部を含め、特別に【インフラツーリズム】と位置付け、視察見学を展開することとしました。



飛騨変換所（内部）



飛騨変換所（外景）



飛騨変換所（内部）

▶ならではのポイント

団体用企画としては、旅行会社ではJTBのみ取扱可能！
JTBでしか体験できないオンリーワン商品です。

- ①普段は無人施設ですが、特別に職員のアテンドによる約90分の見学ができます。特に運転中の周波数変換設備の心臓部見学と、一つの施設で交流と直流の2種類の設備見学は必見！
- ②豪雪地域の暮らしの知恵を活かした造りであり、飛騨の山深い国有林の中に見える電力設備の雄大さに感動！（敷地面積 6万㎡）
- ③見学者全員に、記念としてオリジナル・コースターをプレゼント！

▶プログラムの流れ・タイムスケジュール・メニュー等

中部電力パワーグリッド（株）

飛驒変換所 インフラツーリズム（90分）

【見学コースについて】

ここにしかない周波数変換設備を「目で見て」「耳で聞いて」体感することができる！！

林道ゲートを開錠して山道を抜けると、突如、飛驒変換所の大規模施設が姿を現します。さらに正門扉を開錠、構内の変換所建物内に入り、紹介DVDを視聴後、概要説明を受けます。その後、ヘルメット、イヤホンを着用、防塵服をまといエアシャワーを潜り抜け、屋内設備の見学へGo！

<屋内設備見学>

ホールの扉を開けると、周波数変換時に発生する高周波の振動音に驚き、巨大な周波数変換設備を目の前に、スケールの大きさに感動。
周波数変換の心臓部の実物を見ながら、イヤホン越しに職員の説明を聞きながら、装置の概要と働きを学ぶことができます。続いて普段は撮影禁止の場所で記念撮影。その後、建物の外へ移動し、屋外設備の見学へ。

<屋外設備見学>

周波数変換設備としては、国内初となる海外製品を適用し、積雪2mを超える豪雪にも耐えうる設計を施した設備を間近に見ることができます。

ここでは、交流設備や直流設備の大きさや違いをご覧ください。

※受け入れ可能人数10～30名（1～2班で見学）

説明員は、1班につき**2名程度**つきます。全体行程は約90分程度です。

【参加記念の特典】

家具の端材を利用したコースター（飛驒変換所焼印入）を参加者全員へプレゼント。



表



裏

【お願い】

- 小学生以下は不可。●バリアフリー非対応。
- トイレは最低限の個数しかないので、飛驒変換所到着前に済ませてからお越しください。

※飛驒変換所は国有林内にあるため、飛驒森林管理署へ入林届（氏名）提出の手続きが必要。（中部電力パワーグリッドにて実施）

- 建物内撮影禁止、ペースメーカーをご使用の方はご遠慮願います。
- 係員の指示に従うようにお願いします。



変換所全景



屋内設備



屋外設備



屋外設備

▶その他補足情報

- ・所要時間 約90分
- ・設定人員 10名～30名程度
- ・設定時間 平日のみ
午前 9:30～12:00の間で90分
午後 13:30～16:30の間で90分
（それ以外の希望は要相談）
- ・設定日 7月上旬～11月下旬
- ・設定除外日 現地確認要
不定期に施設点検や
自然災害時等除外あり

▶交通アクセス

車／東海北陸道自動車道
「飛驒清見IC」および
「荘川IC」より約20分

列車／JR高山線高山駅
より車で約30分

岐阜県高山市清見町上小鳥
地内（上小鳥国有林内）